



富士ワイズメンズクラブは「**社会を明るくする運動富士市推進委員会**」の加盟団体です

国際会長主題	A・シャナヴァスカーン	より良い世界のために、共に
アジア太平洋地域会長主題	ジョウン・ウォン	大きなインパクトを起こそう
東日本区理事主題	山田公平	ワイズの方向を見極める
富士山部部長主題	相磯優子	たゆたえども沈まず
富士クラブ会長主題	仁藤斎浩	広げよう 楽しい活動 思いやりの心

会長	仁藤斎浩
副会長	増田 隆
書記	増田 隆
会計	岩辺富雄
直前会長	吉澤廣美
担当主事	金井 淳

2025年 2月 会報

2月協調月間
TOF

★2025年2月例会★

と き 2025年2月12日(水) 18:30～
と ころ ホテルグランド富士 (0545-61-0360)
受 付 吉澤廣美君
司 会 高野 亨君

- | | |
|-------------------------|-----------|
| 1. 開会点鐘 | 会長 |
| 1. 開会の挨拶 | 鈴木靖巳君 |
| 1. ワイズソング・ワイズの信条 | |
| 1. 東日本区理事、富士山部長、会長主題の唱和 | |
| 1. 会長挨拶 | 仁藤斎浩会長 |
| 1. ゲスト・ビジター紹介 | 仁藤斎浩会長 |
| 1. 食前の感謝 | 仲澤昭夫君 |
| 1. 中学生サッカー大会 | 岳陽中学校佐野先生 |
| 1. 誕生日 | |
| 1. 各委員会・書記・会計・事務局報告 | |
| 1. 出席率スマイル報告 | |
| 1. 閉会の挨拶 | 増田 隆君 |
| 1. 閉会点鐘 | 仁藤斎浩会長 |

例会終了後役員会を開催します

2月 Happy Birthday

該当者なし

巻頭言

新年合同例会

増田 隆

1月例会は富士山部部長の公式訪問と、各ワイズメンズクラブ恒例の新春例会訪問月です。10年位前まで、富士クラブは富士山部全クラブに5人前後のメンバーが新年例会に参加し、お互い親睦と刺激を深め合ってきました。しかし、ここ数年会員減少もあり参加人数も厳しくなり今年は仁藤会長と私の2名でした。13日は伊東、下田クラブの合同例会に参加しました。伊東クラブはメンバーこそ少なくなりましたが、しっかりと例会の運営、他団体とのつながり、そしてメンバーの皆様の澁瀨さは今年11月15日に創立50周年を迎える伝統あるクラブならではの、と感じました。21日は三島、沼津、御殿場の合同例会でした。会場は女性メンバーが多く圧倒されっぱなしでした。富士クラブも女性メンバーが入会してくれないかなと思いました。笑福亭羽光さんの新春特別講演落語はお正月らしい素晴らしい企画でした。25日は熱海、熱海グローリーの合同例会。特に熱海クラブはワイズメンズクラブのお手本のようなクラブで会員も多く、事業内容も会の運営も見習いたいことばかりです。そして最大の出来事は、熱海グローリークラブの4人の入会式でした。しかも4人とも80

1月例会報告

在籍会員	9名	例会出席者	5名	スマイル基金	0円	CS基金	円
休会会員	1名	出席率	56%	スマイル累計	26,000円	CS累計	円
担当主事	1名	ゲスト	名	ビジター	名	総出席者	44名

歳を超えているとの事。いいじゃないか、80を超えても。まわりのメンバーとあまり変わらないじゃないか、と感じたのは私だけではないと思います。誰もが元気でいれば通過する年齢です。これからは時代に合ったクラブ運営と活動で生き生きと、ワイワイガヤガヤ楽しくいきましょう。

1月合同例会報告

1月例会は恒例の富士宮クラブとの合同新年例会で、今回は富士宮クラブがホストクラブです。会場は「志ほ川バイパス店」で6時30分より開会されました。富士山部各クラブより多数の参加をいただき全体で44名の参加者でした。



富士宮クラブ山本会長、富士クラブ仁藤会長の開会の挨拶があり、富士山部長の公式訪問として、相磯富士山部長の挨拶がありました。

そして会場がお蕎麦屋さんでしたので美味しいお蕎麦の食事が最高でした。また、お蕎麦のお代わり自由でしたのでそば好きな方は次から次にお代わりをしていました。誕生日のお祝いがありました

が、1月生まれメンバーは、4会場でお祝いをしていただいたメンバーもいました。和気あいあいの内に、富士・富士宮クラブの1月新年合同例会が終了しました。



1月役員会報告

合同例会終了後、同会場で引き続き役員会を開催しました。

1. 京都エイブルクラブ35周年は仁藤会長と増田副会長が参加することになりました。祝儀の金額を決めました。
 2. 富士クラブ次期副会長の件
今日は5名の参加者でしたので2月例会に持ち越しとなりました。
 3. 京都エイブルクラブと滋賀蒲生野クラブが5月11日に御殿場東山荘に来ます。詳細はまだですが、富士クラブとしての対応は。
この件に関しても、2月例会に持ち越しとなりました。
- ・2月例会に中学サッカー大会の件で担当の佐野先生が大会要項を説明します。

【誌上マイタイム】

金井 淳

先月、東日本のYMCA スタッフ研修の一環で、福島県原発事故の影響が残る地域を訪れました。全国のYMCAでは震災以降、さまざまな支援活動を行い、私も大学生の頃から保養キャンプや募金活動に関わってきました。特に、富士山YMCAでの避難者支援キャンプや、いわき市の保育園・幼稚園のキャンプには強い思い出があります。

今回初めて被災地を訪れ、不自然に広がる空き地や崩れた家屋、今も続く除染作業、そして、帰宅困難区域を目の当たりにし、多くの人が今も元の生活に戻れない現実を実感しました。また、同行したぐんまYMCAの村上総主事の「YMCAスタッフは、働き方だけでなく、生き方も問われている」という言葉が印象に残りました。この時期に福島を訪れたことには、何か意味があるように思います。YMCAスタッフとしての「働き方」と「生き方」を改めて考えさせられる機会となりました。

富士山YMCA便り

富士山 YMCA

金井 淳

毎年ブリテンでご案内しておりますが、2月の最終水曜日（今年は2月26日）は「ピンクシャツデー」です。富士山YMCAはじめ全国のYMCAでは、世界的ないじめ反対運動に取り組んでいます。カナダでピンクのシャツを着てきた男の子が「ゲイ」だといじめられたときに、その友人たちがみんなピンクのシャツを着て、いじめをなくしたというエピソードがきっかけです。ピンクシャツデーに合わせて、YMCAのスタッフや会員、子どもたちがピンク色のものを身につけ、いじめ反対をアピールするとともに、一人一人にできることを考えます。皆様も、ご家庭などでピンクのものを身につけ、いじめや社会的排除について考えてみませんか？この時期、日没間際には白く雪化粧した富士山も「ピンク」に染まります。



富士山と月 (富士山YMCAより)